

国体選手へ突撃インタビュー

わかしゃち国体開催



西上正一監督 柴田さんご夫妻
福島選手 市橋選手 鬼池選手

バドミントン少年女子
大阪チームの民泊家庭
柴田さん宅（中央町）訪問

Q 監督さんは、民泊されるのは初めてと伺いましたが、いかがですか？
監督 ゆっくり、のんびりとさせてもらえていいですね。ホテル泊りだと他の県の監督との酒の御付き合いもあり、国体後はどーっと疲れて帰ったりしますが、今回は健康な身体で、大阪に帰れます。

民泊で、リラックス

鬼池 民泊だと、愛があるという感じがします。
（編集者より 柴田ご夫妻のやさしさがとても強く感じられました。）
Q いつ頃から、バドミントンを始めたのですか？
市橋 小学校の四年生から、市のクラブで始めました。
福島 私達は、五年生からです。
監督 この子らは、小学生のうちから戦ってるんですね。

Q 国体は団体戦ですが、個人戦と比べて、どちらが好きですか？
市橋 団体戦の方が好き。
鬼池 団体戦やと燃える。
福島 団体やと、皆で喜べるもんなあ。

監督 個人戦だと、おめでとうと言いつつ、自分は負けてたりするけど、団体戦は、勝った時、皆で喜べるから盛り上がり方が、違いますね。

Q 大府の体育館はどうですか？
福島 やりやすいですよ。

監督 僕ら大阪ですけど、大阪はガヤガヤしてるけど、大府は落ち着いてるというか、いい感じですよ。

ふれあい

大府コミュニティセンター

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
ふれあい部会
事務局
大府公民館
TEL 48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

オリンピックをめざして

Q 卒業後は、どこへ？

福島 具体的には、国体が終わって、大阪へ帰ってから決めるんですが、進学します。

市橋 富山の三協アルミに就職します。

鬼池 私は、大阪の三洋電機です。

Q 目標は、アトラクタですか？

監督 その次のシドニーオリンピックです。世界的には、十九、二十才が中心ですが、日本では、二十二、三才が中心になりますから、この子らは、シドニーですね。市橋さんは、ジュニアの頃から、全日本で活躍しているので楽しみです。

国体選手を迎えた感想を

柴田 以前に海外の方を、二度程ホームステイしまして、民泊には、慣れてはいます。今回は特に、ちゃんと日本語で通じ合えますし、皆さん明るい方ばかりで、楽しかったです。せっかく、泊って頂いてるんですから、明日の決勝戦は、是非優勝してほしいです。

（十一月一日 夜八時頃取材）

少年女子大阪チームは、十一月二日の決勝戦で、福岡に勝ち、優勝しました。皆さんの、今後の益々のご健闘を、お祈りします。ご協力ありがとうございました。



ふれあい部会製作 かん・かん・かんばん

大府コミュニティ推進協議会

空缶看板展示

大府コミュニティ推進協議会も空缶5832個を使った看板を体育館入口に展示しました。とても良い場所をご提供くださいました国体事務局に感謝するとともに展示作業を手伝って頂いた方々へお礼申し上げます。国体を少しでも盛り上げる事ができたらと企画しました。国体選手や応援にこられた市民の方々の看板前で記念撮影する姿がちらほら見られました。製作には苦労しましたが、『作ってよかったなあ』と感じています。

大府市商工会青年部製作の看板です。大府夏まつりの時に除幕式を行ないました。大府駅をおりてきた選手の目を楽しませていました。



多くの市民の方々の協力のもと
大盛況“大府のわかしゃち国体”



大府区選手団歓迎パーティー

華やかに開催 !!

10月29日 大府公民館にて

大府区選手団歓迎パーティーが、選手70名を含めて、総勢200名の参加の中、開催されました。民泊家庭の方々にもご参加頂き、和気あいあいと楽しんで頂きました。特に大府ばやし保存会の皆様と選手によるおどりの実演はすばらしいものでした。大会の成績では、成年男子東京チーム（花井宏基様宅民泊）・成年女子東京チーム（樋口広巳様宅民泊）・少年女子大阪チーム（柴田公賀様宅民泊）と大府区から3チームの優勝ができました。これも民泊家庭の心暖まるお世話の賜物ではなかったかと思えます。国体は市民並びに各方面の方々のご協力で大成功に終わったと感じます。今後とも『すばらしい大府』へとがんばりましょう。



第十三回

夏まつり開催

八月六日・八月七日の両日、大府夏まつりを開催いたしました。今年度は国体開催の年ということでオーブン・グバレードで国体関連として横断幕と大府小学校の金管バンド演奏が行なわれました。また駅前、シャッター君を形どった看板の除幕式もあるなど国体開催のPRが多く盛り込まれました。例年にも増して各種団体・役員・地域の皆様方のご協力を頂き、盛大に開催できた事に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。



第13回大府夏まつり収支決算書

収入の部

(単位円)

項目	平成6年度予算額	平成6年度決算額	備考
コミュニティ支出金	200,000	300,000	
大府商業まつり実委	700,000	700,000	
大府市・市商工会・県補助金	1,474,000	1,474,000	
企業・商店等協賛金	600,000	700,000	
夜店負担金	38,000	50,000	申請・検便費
雑収入	30,000	33,220	祝儀・利子等
繰越金	55,529	55,529	
収入合計	3,097,529	3,313,249	

支出の部

(単位円)

項目	平成6年度予算額	平成6年度決算額	備考
総務費			
警備食費	68,000	67,720	
警備費	150,000	150,000	警備会社
食料費	133,000	132,284	
申請料	47,000	46,370	夜店・検便申請料
渉外費	28,000	27,177	依頼・挨拶
事務費	113,000	117,970	紙・写真・電話等
会議費	70,000	120,000	含監査費
接待費	58,000	57,350	来賓
事業費			
電気工事費	515,000	515,000	
放送設備費	232,780	232,780	
やぐら	515,000	515,000	
盆おどり	207,000	231,723	保存会礼金含む
歌謡ショー	400,000	500,000	阿波踊り・ショー
子供コーナー	120,000	120,000	いちご動物園
七夕かざり	26,000	26,060	
看板	140,000	140,000	
ポスター	200,000	200,000	
予備費			
雑費	23,520	47,340	礼金・洗濯代・後片付け代
予備費	51,220	18,714	
繰越金		47,761	
支出合計	3,097,529	3,313,249	

上記決算は正当であると認める

平成6年10月22日

大府夏まつり実行委員会監事

深谷 朝光
深谷 泰造
近藤 等自転車の
交通安全教室“開催”『子供会の皆様ご協力
ありがとうございました』

やすらぎ副部会長 山口 日出生

やすらぎ部会では、今年も夏休み前に自転車交通安全教室を大府小学校において開催し、約二五〇名の方々に参加していただきました。この教室で勉強した内容は校庭に白線で設定したコースを走行し乍ら、●左側通行、●見通しの悪い交差点での一時停止、●左右の安全確認、の三点を各ポイントに配置された市の交通指導員の方達から丁寧に指導を受けました。さて私達は日頃、自転車を手軽で、健康的で、便利な乗物位にしか思っておらず、余り交通规则のこともなかなか考えて乗っていないと思います。しかし、自転車に乗る場合、いつでも歩行者や、自転車などみんなと一緒に道路を通行していることを考え、お互いにきめられた規則を守り、他に迷惑をかけないように心掛け、交通安全を守るようにしましょう。





遠く離れて暮らす老いた親が急に倒れ、近くに世話をしてくれる人がいない。遠方に下宿する子供がけがをして動けなくなった。急にこのようなことが起きたら、あなたはすぐ対応できますか。また、あなた自身が思いがけないことで、日常の家事すらできなくなったらだれかに頼めますか。

三年前、私は心身ともに弱りきり、自分自身の身の回りのことすらおぼつかない状態でした。ふとしたことで知ったボランティアグループ「ネットワーク大府」。すぐる思いで見知らぬグループに助けを求めました。そのグループは、在宅介護、家事援助、老人の話し相手、乳幼児の世話、保育園の送

あの人この人

「さわやか福祉推進センター」

川上里美さん — 共栄町一 —

迎などのサービスを有償でしてくれまです。その事務局長だったのが川上さんです。

私の窮状を理解して下さり、実にきめ細かな手助けをして下さいました。滞った家事をてきぱき片付け、おいしい料理を用意して下さい、まだ小さい子供たちにやさしく話しかけて下さいました。スタッフのかたがたもすばらしい人ばかりでした。労働を提供する人、受ける人が「対等」というのもこのグループの特長のひとつです。

このような一歩進んだボランティアグループをきき上げた川上さん、実は、彼女にも苦しい時があったのです。彼女は現在五人家族、大学職員の夫、成人している一女一男、八十八歳の夫の母。結婚したころ、大学で栄養指導をしていた彼女は、まず第一子の妊娠出産で休職を余儀なくされました。がんばって復職したもの、今度は、義母の長期入院、大学での研究活動、子育ての三つの課題を抱え、過労から健康を損ない、とうとう職場を去る決心をしたのです。

「ほんのちょっとした手助けがしても

らえたら、あの時仕事を続けられた。これが川上さんにとって、ボランティアに目を向けさせるきっかけでした。

今、川上さんは東京に本部を置く、

「さわやか福祉推進センター」(来年二月財団法人になる予定)のインストラクターとして東奔西走の日々を送っておられます。「さわやか」では、全国規模のボランティア組織を目指し、すでに数百近くのグループが主旨に賛同しています。「キップ制」を取り入れ、地元で一時間(一点)の労働を提供すると、例えば、他県に住む親が困った時、その近くの拠点から同じ点数のサービスが受けられる。自身の点数をためておいて将来困った時自分がサービスを受けることができる、というものです。

行政による福祉も充実しつつある昨今ですが、私自身の受けたボランティアのサービスは、民間自主団体ならではの、迅速、かつきめ細かなものでした。社会が複雑化、高齢化していく一方で、「むこう三軒両隣意識」は希薄になっています。ボランティア活動は、老若男女問わず、だれもが自分自身の問題にはかならないのです。

「さわやか川上さん」にエールを送りましょう。

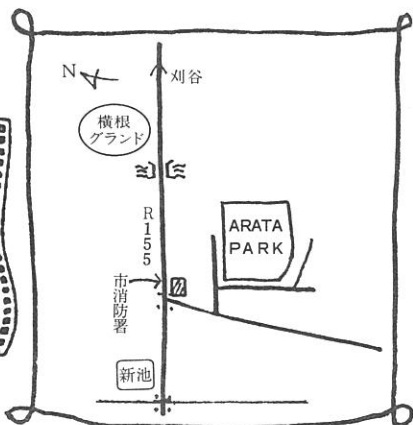
川上さんの連絡先 47・2893 (A)

ちよつとお散歩!

ザ・公園

アラタ公園は、市内で三十一番目の一番新しい、ミニ公園です。入口に、ミニユメント「なかよし元気」鬼頭正信さん(大東町)の作品、遊具もアメリカ製で、ちよつぱり冒険好きの子どもたちには大もての「コンビネーション」型、三米のトラックライドもあります。

完成は本年四月、大府消防署の南側。



編集後記

2年間余りに渡って掲載してきた国体関連の記事もこの28号にて終了です。読んでおもしろい記事をこれからも考えていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。